

このまちの100年

「神戸」

入り江が港として適していたことなどから、開港場となった神戸。港の近くに居留地が設けられ、日本を代表する港町の一つとして発展します。様々な西洋文化が伝わるようになり、商業地としてもにぎわいました。



大正元年頃

メリケン波止場とも呼ばれた第三波止場。メリケン「アメリカン」から転訛したとされる



明治40年頃

慶応3年に開港した兵庫（神戸）。海岸沿の居留地には洋館が建ち並んだ



昭和初期

そごう 神戸店は、阪神三宮駅ビルのテナントとして開業



大正末期～昭和戦前期

写真奥は平清盛ゆかりの清盛塚。清盛は平安時代末期、大輪田泊（のちの兵庫港）を整備したといわれる



昭和初期

昭和11年、阪急が三宮に神戸駅（現在の神戸三宮駅）を開業。この時、写真の神戸阪急ビルが建設された



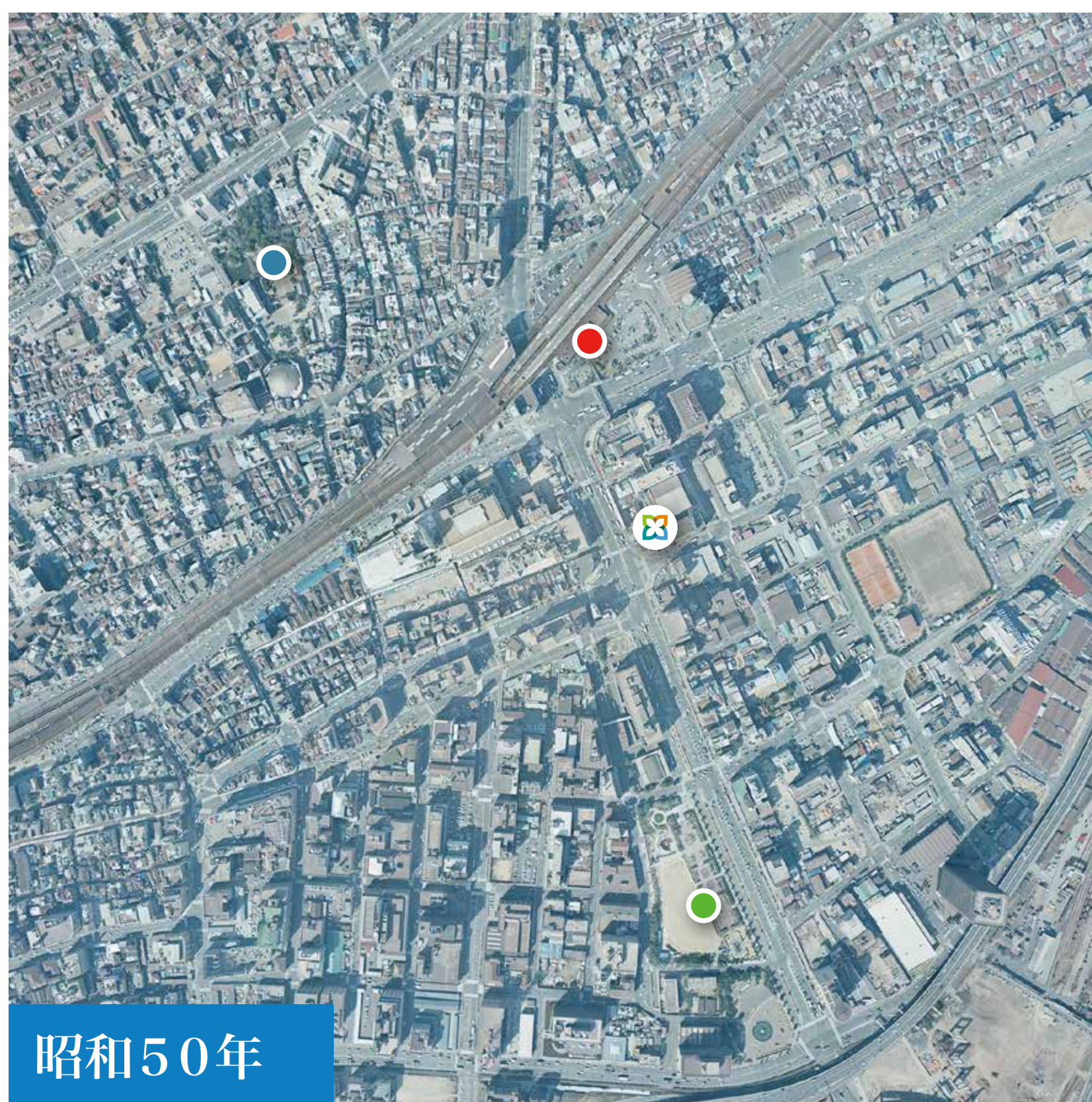
昭和20～30年代頃

三宮駅前の様子。神戸市電は昭和46年に全て廃止となった

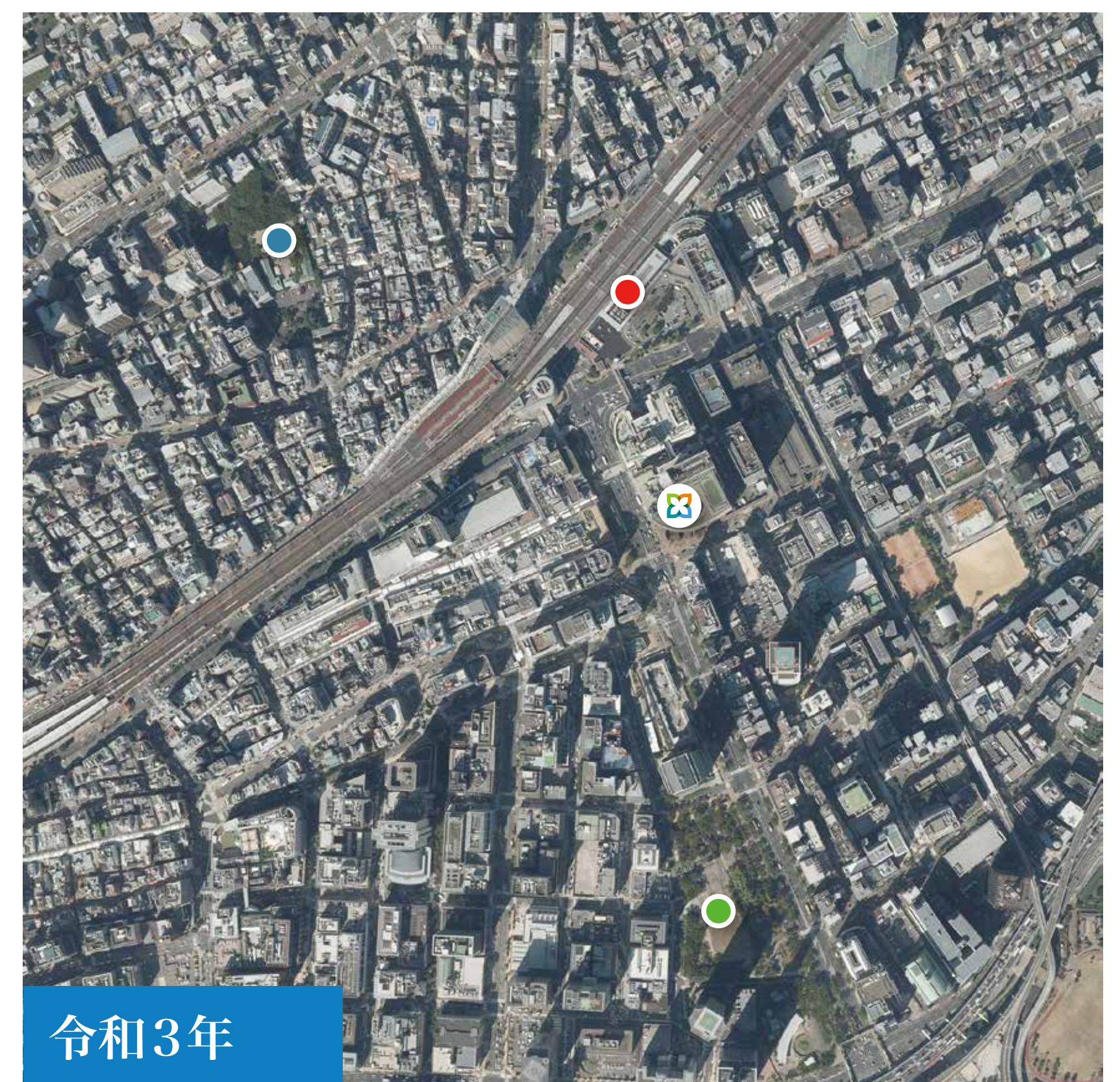
上空からみた神戸エリア



昭和23年



昭和50年



令和3年

●：生田神社 ●：東遊園地 ●：三ノ宮駅
●：現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ